

## 平成23年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年12月30日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 きよくとう

コード番号 2300 URL <http://www.cl-kyokuto.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 牧平 年廣

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経理部長

(氏名) 三好 清一郎

TEL 092-503-0050

四半期報告書提出予定日 平成23年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年2月期第3四半期の業績(平成22年3月1日～平成22年11月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第3四半期	5,557	△5.0	555	11.2	610	10.4	315	25.5
22年2月期第3四半期	5,847	—	499	—	553	—	251	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第3四半期	56.95	—
22年2月期第3四半期	45.37	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第3四半期	5,161	3,400	65.9	613.71
22年2月期	4,770	3,144	65.9	567.32

(参考) 自己資本 23年2月期第3四半期 3,400百万円 22年2月期 3,144百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	5.50	—	5.50	11.00
23年2月期	—	5.50	—	—	—
23年2月期(予想)	—	—	—	5.50	11.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年2月期の業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,900	△4.1	395	9.3	444	6.4	207	20.4	37.53

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

業績予想の修正については、本日(平成22年12月30日)公表の「平成23年2月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」を参照してください。

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年2月期3Q	5,551,230株	22年2月期	5,551,230株
② 期末自己株式数	23年2月期3Q	9,590株	22年2月期	9,410株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年2月期3Q	5,541,720株	22年2月期3Q	5,541,877株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
【第3四半期累計期間】	7
【第3四半期会計期間】	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期会計期間におけるわが国経済は、輸出や生産は横ばいで推移しており、設備投資は持ち直しに転じつつあります。個人消費においては、政府の経済対策に支えられてきたものの、一部で終了後の反動もあり大幅に減少しております。雇用・所得環境は、依然として厳しい状況にあり、個人消費は引き続き低迷しております。

当社におきましても、個人消費の低迷に加え、9月は残暑が厳しく、10月も気温が平年を上回る日が多いなどの天候要因もあり、秋の衣替えシーズンの需要が伸びず、厳しい経営環境で推移しました。

このような状況の中で、当社は、当第3四半期会計期間の取り組みとして、秋の衣替えシーズンを迎え、需要獲得のための販促活動として、恒例の「秋のプレゼントキャンペーン」を実施するなど、販促強化に努めました。

また、品質の向上と生産体制の強化に努める一方、地域消費者サービスの拡大を目指し、10月に稲城プラント（東京都稲城市）、11月に博多プラント（福岡市博多区）を開設いたしました。

以上の結果、当第3四半期会計期間の業績は、売上高は、1,576,173千円と前年同四半期と比べ72,855千円（4.4%）の減収となりました。

営業利益は、工場運営における時間管理の徹底や運営面改善の効果と不採算店を閉鎖したことによる効果等により41,089千円と前年同四半期と比べ37,261千円（973.2%）の増益、経常利益は60,131千円と前年同四半期と比べ36,939千円（159.3%）の増益、四半期純利益は30,934千円と前年同四半期と比べ21,411千円（224.8%）の増益となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて328,496千円増加し、2,203,492千円となりました。これは、現金及び預金が304,832千円、売掛金が14,568千円増加したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて62,631千円増加し、2,958,066千円となりました。これは、投資その他の資産が29,805千円減少したものの、土地が78,531千円増加したことなどにより有形固定資産が67,197千円増加し、リース資産が46,083千円増加したことなどにより無形固定資産が25,239千円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて391,127千円増加し、5,161,558千円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて153,916千円増加し、1,057,313千円となりました。これは、未払法人税等が62,320千円、1年内償還予定の社債が25,000千円、ポイント引当金が21,980千円増加したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて19,744千円減少し、703,278千円となりました。これは、リース債務が41,496千円増加したものの、社債が35,000千円、長期借入金が23,581千円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて134,171千円増加し、1,760,591千円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて256,955千円増加し、3,400,966千円となりました。これは、利益剰余金が254,631千円増加したことなどによります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、第2四半期会計期間末に比べ96,116千円減少し、当第3四半期会計期間末には1,488,823千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期会計期間における営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期と比べ20,015千円(407.5%)増加し、24,927千円となりました。

収入の主な内訳は、税引前四半期純利益57,480千円、減価償却費28,375千円などであり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額95,677千円、売上債権の増加額5,198千円などです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期会計期間における投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期と比べ50,759千円(116.7%)増加し、94,236千円となりました。

収入の主な内訳は、定期性預金の払戻による収入134,274千円などであり、支出の主な内訳は、定期性預金の預入による支出149,457千円、有形固定資産の取得による支出80,544千円などです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期会計期間における財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期と比べ21,351千円(391.3%)増加し、26,808千円となりました。

収入の主な内訳は、長期借入れによる収入50,000千円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出38,801千円、配当金の支払額29,885千円などです。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、景気は、政府の経済対策に支えられ一部に持ち直しの傾向が見られたものの、雇用・所得環境は依然として厳しい状況にあり、個人消費は、引き続き低迷しております。

当社におきましても、個人消費の低迷に加え、3月、4月の気温が平年を大幅に下回り、冬物衣料が手放せない天候要因により、春の衣替えシーズンの需要が落ち込み、9月は残暑が厳しく、10月も気温が平年を上回る日が多いなどの天候要因により、秋の衣替えシーズンの需要が伸びず、厳しい経営環境で推移しております。

このような状況の中で、当社は、お客様のニーズに対応するための取り組みとして積極的な活動を推進し、需要の拡大に努めてまいりましたが、当初の予想を下回る見込みとなりました。

平成23年2月期の業績予想につきましては、売上高が、当初予想7,210百万円を下回る6,900百万円(当初予想比:310百万円減、対前年比:298百万円減)となる見込みであります。

営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、工場運営における時間管理の徹底や運営面改善の効果と不採算店を閉鎖したことによる効果もあり、当初予想に変更はなく、営業利益は395百万円、経常利益は444百万円、当期純利益は207百万円となる見込みであります。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

#### ② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ③ 繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降の経営環境に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### ④ 税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,972,455	1,667,623
売掛金	63,103	48,535
商品	21,564	13,948
原材料及び貯蔵品	15,855	16,049
前払費用	69,308	67,398
その他	61,204	61,440
流動資産合計	2,203,492	1,874,995
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	405,912	408,391
土地	1,687,777	1,609,246
その他(純額)	77,060	85,915
有形固定資産合計	2,170,750	2,103,553
無形固定資産		
のれん	26,372	46,718
その他	71,289	25,703
無形固定資産合計	97,661	72,422
投資その他の資産		
差入保証金	484,636	508,456
その他	205,016	211,002
投資その他の資産合計	689,653	719,459
固定資産合計	2,958,066	2,895,435
資産合計	5,161,558	4,770,431
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	41,385	28,319
短期借入金	100,000	100,000
1年内償還予定の社債	35,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	154,668	140,826
未払金	328,180	334,523
未払法人税等	180,139	117,819
賞与引当金	49,042	35,212
役員賞与引当金	—	3,250
ポイント引当金	102,570	80,590
その他	66,328	52,857
流動負債合計	1,057,313	903,397

(単位: 千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
<b>固定負債</b>		
社債	—	35,000
長期借入金	369,542	393,123
退職給付引当金	108,976	107,760
役員退職慰労引当金	119,557	122,773
その他	105,202	64,366
<b>固定負債合計</b>	<b>703,278</b>	<b>723,022</b>
<b>負債合計</b>	<b>1,760,591</b>	<b>1,626,419</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	555,092	555,092
資本剰余金	395,966	395,966
利益剰余金	2,458,347	2,203,715
自己株式	△3,133	△3,081
<b>株主資本合計</b>	<b>3,406,272</b>	<b>3,151,693</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	△5,305	△7,681
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>△5,305</b>	<b>△7,681</b>
<b>純資産合計</b>	<b>3,400,966</b>	<b>3,144,011</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>5,161,558</b>	<b>4,770,431</b>



(2) 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
売上高	5,847,752	5,557,003
売上原価	1,770,664	1,643,652
売上総利益	4,077,087	3,913,351
販売費及び一般管理費	3,577,664	3,357,881
営業利益	499,423	555,470
営業外収益		
受取利息	1,530	803
受取配当金	859	1,084
受取家賃	28,868	28,537
その他	35,044	36,362
営業外収益合計	66,302	66,788
営業外費用		
支払利息	7,561	6,779
その他	4,771	4,664
営業外費用合計	12,333	11,444
経常利益	553,391	610,813
特別損失		
固定資産売却損	48	839
固定資産除却損	4,169	8,090
減損損失	13,730	8,201
投資有価証券評価損	—	7,621
過年度ポイント引当金繰入額	51,067	—
特別損失合計	69,015	24,753
税引前四半期純利益	484,376	586,060
法人税等	232,930	270,469
四半期純利益	251,446	315,591

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期会計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)
売上高	1,649,028	1,576,173
売上原価	545,758	501,406
売上総利益	1,103,270	1,074,766
販売費及び一般管理費	1,099,441	1,033,676
営業利益	3,828	41,089
営業外収益		
受取利息	331	163
受取配当金	119	199
受取家賃	9,687	10,216
その他	13,287	11,050
営業外収益合計	23,426	21,630
営業外費用		
支払利息	2,459	2,237
その他	1,603	351
営業外費用合計	4,063	2,589
経常利益	23,191	60,131
特別利益		
投資有価証券評価損戻入益	—	63
特別利益合計	—	63
特別損失		
固定資産除却損	2,032	—
減損損失	2,653	2,714
特別損失合計	4,685	2,714
税引前四半期純利益	18,506	57,480
法人税等	8,983	26,545
四半期純利益	9,522	30,934

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	484,376	586,060
減価償却費	96,213	80,857
のれん償却額	22,145	20,345
減損損失	13,730	8,201
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7,158	1,216
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1,674	△3,215
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,079	13,830
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,730	△3,250
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	77,605	21,980
受取利息及び受取配当金	△2,389	△1,888
支払利息	7,561	6,779
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	7,621
有形固定資産除却損	4,169	8,090
有形固定資産売却損益 (△は益)	48	839
売上債権の増減額 (△は増加)	△11,410	△14,568
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△291	△7,422
仕入債務の増減額 (△は減少)	7,673	13,065
未払消費税等の増減額 (△は減少)	2,518	10,797
その他の資産の増減額 (△は増加)	37,340	△695
その他の負債の増減額 (△は減少)	17,498	△17,803
小計	761,622	730,843
利息及び配当金の受取額	2,735	2,285
利息の支払額	△7,632	△6,831
法人税等の支払額	△168,507	△202,662
営業活動によるキャッシュ・フロー	588,218	523,635
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期性預金の預入による支出	△496,354	△541,053
定期性預金の払戻による収入	403,831	593,785
有形固定資産の取得による支出	△73,583	△146,715
有形固定資産の除却による支出	△5,980	△7,616
有形固定資産の売却による収入	0	238
投資有価証券の取得による支出	△4,508	—
出資金の払込による支出	—	△15
出資金の回収による収入	50	—
短期貸付けによる支出	△120	—
短期貸付金の回収による収入	20	40
差入保証金の差入による支出	△26,476	△17,310
差入保証金の回収による収入	24,484	41,130
投資活動によるキャッシュ・フロー	△178,636	△77,516

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100,000	—
長期借入れによる収入	160,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△90,738	△109,739
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
リース債務の返済による支出	—	△8,299
配当金の支払額	△60,298	△60,463
自己株式の取得による支出	△17	△52
財務活動によるキャッシュ・フロー	△101,054	△88,553
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	308,528	357,564
現金及び現金同等物の期首残高	1,068,777	1,131,258
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,377,305	1,488,823

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期累計期間(自平成22年3月1日至平成22年11月30日)

該当事項なし

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期累計期間(自平成22年3月1日至平成22年11月30日)

該当事項なし